

## オレオールフロアブル

版番号 1/J

102000058871

改訂日：2023/02/20

印刷日：2023/02/20

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1 製品情報

製品の名称 オレオールフロアブル

製品コード (UVP) 88433777

#### 1.2 推奨用途及び使用上の制限

使用 除草剤

#### 1.3 安全データシート作成者

供給者の会社名称・住所 エンバイロサイエンスジャパン株式会社  
東京都千代田区大手町1-6-1

電話番号 81-3-4570-8758

ファクシミリ番号 81-3-4510-2081

担当部門 QHSE johji.ohdake@envu.com

#### 1.4 緊急時の連絡先

グローバルインシデント対応 +1-703-527-3887  
ホットライン（24時間対応）

### 2. 危険有害性の要約

#### 2.1 化学品のGHS分類

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（改訂6版）による分類

水生環境有害性 短期（急性）：区分1  
H400 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 長期（慢性）：区分1  
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

#### 2.2 GHSラベル要素

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（改訂6版）による表示

供給/使用のための危険有害性の表示が必要である。

## オレオールフロアブル

版番号 1/J

102000058871

改訂日: 2023/02/20

印刷日: 2023/02/20



注意喚起語: 警告

## 危険有害性情報

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

P273 環境への放出を避けること。

P391 漏出物を回収すること。

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 2.3 他の危険有害性

言及されたもの以外に既知の追加の危険有害性はありません。

## 3. 組成、成分情報

## 3.2 化学物質・混合物の区別: 化学物質

## 化学名又は一般名

懸濁剤 (= フロアブル剤) (SC)

Oxadiazon 380 g/l

## 危険有害成分

一般名	化学名	CAS RN / 官報公示整理番号(安衛 法)	濃度又は濃 度範囲 [%]
オキサジアゾン	5-ターシャリーブチル -3-(2,4-ジクロロ-5-イソ プロポキシフェニ ル)-1,3,4-オキサジアゾー ル-2(3H)-オン	19666-30-9	34.8
Ethoxylated polyarylphenol		99734-09-5	
1,2-ベンゾチアゾリン-3- オン	1,2-ベンゾチアゾリン-3- オン	2634-33-5	

## 詳細情報

1,2-ベンゾチアゾ リン-3-オン	2634-33-5	M-ファクター: 10 (急性)
-----------------------	-----------	------------------

## オレオールフロアブル

版番号 1/J  
102000058871

3/10

改訂日: 2023/02/20  
印刷日: 2023/02/20

### 4. 応急措置

#### 4.1 必要な応急手当

##### 一般的アドバイス

危険域から避難させる。直ちに汚染された衣類を脱がせ、安全に廃棄すること。症状が現れ継続する場合は、医師に相談してください。

##### 吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移動させ、休息させる。症状が持続する場合は、医師に連絡する。

##### 皮膚に付着した場合

石鹼と水で十分に洗い流すこと。症状が持続する場合は、医師に連絡する。

##### 眼に入った場合

直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水でゆすぐ。コンタクトレンズを装着している場合は、着用した状態で最初の5分間洗浄した後に取り外し、更に洗浄を続けること。刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。

##### 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。口をすすぐこと。

#### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

##### 症状

知られていないか予想されない症状。

#### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

##### 取り扱い

症状に応じた治療を行う。胃洗浄は通常必要ありません。しかし、多量（一口以上）に摂取した場合は、活性炭と硫酸ナトリウムを投与してください。特に解毒剤なし。

### 5. 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

##### 適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

##### 使ってはならない消火剤

大型棒状の水

#### 5.2 特有の危険有害性

火災の際には危険なガスが発生する。

#### 5.3 消防士へのアドバイス

##### 消火を行う者の保護

火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。自給式呼吸装置と保護服を着用する。

##### 詳細情報

熱による圧力の上昇を避けるために、火気のある場所から製品を取り出し、または容器を水で冷やしてください。可能であれば、砂や土で区画して消火用水を入れること。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。



## オレオールフロアブル

版番号 1/J  
102000058871

5/10

改訂日:2023/02/20  
印刷日:2023/02/20

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

成分	CAS RN	管理濃度	更新日	基準
オキサジアゾン	19666-30-9	0.3 mg/m <sup>3</sup> (TWA)		OES BCS*

\*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

## 8.2 曝露防止

## 保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

## 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。  
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

## 手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。  
汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。飲食、喫煙、トイレの前には手をしっかり洗うこと。  
材質 ニトリルゴム  
透過度 > 480 min  
手袋の厚さ > 0.4 mm  
指令 EN374に準じた防護手袋。

## 眼、顔面の保護具

欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合するゴーグル型保護眼鏡を着用すること。

## 皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業着とカテゴリー3タイプ6の化学防護服を着用すること。  
重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。  
可能であれば、2層の衣類を着用すること。ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態 懸濁液  
色 ベージュ

## オレオールフロアブル

版番号 1/J

102000058871

改訂日: 2023/02/20

印刷日: 2023/02/20

臭い	弱い, 特異臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	3.5 - 5.5 (100 %) (23 ° C)
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	> 102 ° C
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
発火温度	500 ° C
最低点火エネルギー	データなし
自己促進分解温度 (SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (下限値)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし
密度	約 1.09 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
水に対する溶解度	懸濁状態にある
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	Ethoxylated polyarylphenol: データなし
粘度	データなし
動粘性率	データなし
酸化特性	酸化特性なし
爆発性	爆発性なし 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, A. 14
<b>9.2 その他の情報</b>	その他の安全性に関するデータなし

## 10. 安定性及び反応性

## オレオールフロアブル

版番号 1/J

102000058871

改訂日: 2023/02/20

印刷日: 2023/02/20

10.1 反応性	通常の状態では安定。
10.2 化学的安定性	推奨保管条件下では安定。
10.3 危険有害反応可能性	規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。
10.4 避けるべき条件	極端な温度と直射日光。
10.5 混触危険物質	他の容器に移し替えて保管しないこと。
10.6 危険有害な分解生成物	通常の実取扱い条件下では分解生成物はなし。

## 11. 有害性情報

## 11.1 毒性情報

急性毒性 (経口)	LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	ATE (混合物) > 5.0 mg/l 急性毒性推定値:
急性毒性 (経皮)	LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚 刺激性なし (ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	わずかな刺激性 - 表示は必要なし (ウサギ)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器系: データなし 皮膚: 皮膚感作性なし (マウス)

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

オキサジアゾン: 入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

Ethoxylated polyarylphenol: この情報は入手できない。

## 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

オキサジアゾンは、以下の器官における動物実験において、特定の標的臓器の毒性を示した: 肝臓, 血液  
ヒトに関連する毒性は観察されていない。

Ethoxylated polyarylphenol: この情報は入手できない。

## 生殖細胞変異原性

オキサジアゾンは、in vitro及びin vivo試験における遺伝毒性の重みから、変異原性及び遺伝毒性は認められなかった。

Ethoxylated polyarylphenolは、in vitroにおいて遺伝毒性は示さなかった。

## 発がん性

オキサジアゾンは、高用量レベルでの次の器官における腫瘍の発生率が増加した: 肝臓。げっ歯類で腫瘍を誘発する機構および観察される腫瘍の種類は、ヒトには関係しない。

Ethoxylated polyarylphenol: この情報は入手できない。

## オレオールフロアブル

版番号 1/J

102000058871

改訂日: 2023/02/20

印刷日: 2023/02/20

## 生殖毒性

オキサジアゾン、ラットを用いた2世代試験において、親世代に毒性を示す用量で生殖毒性への影響が認められた。オキサジアゾンの生殖毒性は、親世代の毒性に関連している。

Ethoxylated polyarylphenol: この情報は入手できない。

## 発生毒性

オキサジアゾンは、母動物に毒性を示す用量で発生毒性が認められた。オキサジアゾンにみられる発達毒性は、母体の毒性に関連している。

Ethoxylated polyarylphenol: この情報は入手できない。

## 誤えん有害性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

## 12. 環境影響情報

## 12.1 生態毒性

## 魚毒性

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)) 1.2 mg/l

ばく露時間: 96 h

有効成分オキサジアゾンによる値

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) > 0.476 mg/l

ばく露時間: 96 h

有効成分オキサジアゾンによる値

## 水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) > 2.4 mg/l

ばく露時間: 48 h

有効成分オキサジアゾンによる値

## 水生植物に対する毒性

EC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)) 0.0357 mg/l

成長速度; ばく露時間: 72 h

有効成分オキサジアゾンによる値

## 12.2 残留性・分解性

## 生分解性

オキサジアゾン:

急速な生分解性は認められない

Ethoxylated polyarylphenol:

データなし

## Koc

オキサジアゾン: Koc: 1294

Ethoxylated polyarylphenol: データなし

## 12.3 生体蓄積性

## 生体蓄積性

オキサジアゾン: 生物濃縮係数 (BCF) 243

生物濃縮なし

Ethoxylated polyarylphenol:



## オレオールフロアブル

版番号 1/J  
102000058871

9/10

改訂日: 2023/02/20  
印刷日: 2023/02/20

データなし

## 12.4 土壌中の移動性

## 土壌中の移動性

オキサジアゾン: 土壌中でわずかに移動する  
Ethoxylated polyarylphenol: データなし

## 12.5 PBT および vPvB の評価結果

この物質/混合物は0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質 (PBT) または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質 (vPvB) と懸念される物質を含有していない。

## PBT および vPvB の評価

オキサジアゾン: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。  
Ethoxylated polyarylphenol: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。

## 12.6 その他の有害影響

## 生態系に関する追加情報

言及すべき他の効果はない。

## 13. 廃棄上の注意

## 13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

## IMDG

14.1 国連番号	3082
14.2 品名 (国連輸送名)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (OXADIAZON SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 海洋汚染物質	該当

## IATA

14.1 国連番号	3082
-----------	------

## オレオールフロアブル

版番号 1/J  
102000058871

10/10

改訂日:2023/02/20  
印刷日:2023/02/20

14.2 品名 (国連輸送名)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (OXADIAZON SOLUTION)
14.3 国連分類	9
14.4 容器等級	III
14.5 環境危険有害性マーク	該当

## 適用法令

## 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

## 詳細情報

WHO分類: III (わずかに有害)

## 農薬取締法

登録番号: 24634 (エンバイロサイエンスジャパン株式会社)

## 消防法

非該当

## 労働安全衛生法

非該当

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

## 種別化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
5-tert-ブチル-3-(2,4-ジクロロ-5-イソプロポキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾール-2 (3H)-オン	363	34.8

## 16. その他の情報

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。